

第4号様式（第8条関係）

議 事 録

会議名	町史編集委員会		
日 時	平成27年9月1日(火)15:00～17:00	開催形態	公開
場 所	寒川総合図書館会議室		
出席者	委員：圭室委員長、木村委員、鳥養委員、内海委員 事務局：高木館長、福岡主任主事 傍聴者：なし		
議 題	<p>(1) 平成26年度事業結果報告について</p> <p>(2) 平成27年度事業計画について</p> <p>(3) 平成27年度の刊行物について</p> <p>(4) 平成27年度の普及事業について</p>		
決定事項	<p>(1) 平成26年度事業結果報告について了承した。</p> <p>(2) 平成27年度事業計画について了承した。</p> <p>(3) 平成27年度刊行物のうち、町史研究の内容について審議した。他の刊行物については、原案通り了承した。</p> <p>(4) 平成27年度の普及事業について了承した。</p>		
議 事	<p><b>(1)平成26年度事業結果報告について</b></p> <p>○平成26年度事業結果報告についての事務局からの説明に対し、次の質問・意見があったが、原案どおり年報の原稿とすることが了承された。</p> <p>(委 員) 前回の会議でも質問したが、日本映画大学が授業の一環として当館の提供した写真を使って映像作品を作ったとのことなので、その結果を把握すべきだったのではないか。協力者に成果を報告すべきということを教えるのも教育の一環である。</p> <p>(事務局) ご指摘のとおりである。なるべく当時の代表者に連絡をとるようにしたい。</p> <p>(委 員) 平成26年度は町外調査資料のマイクロフィルムによる公開について手続きを積極的に進めたと伺ったが、依頼しても断られた事例はあったのか。</p> <p>(事務局) 金刀比羅宮は交渉を行ったが、包括的に寒川文書館で閲覧させることについては難色を示し、閲覧希望のある都度、希望者から申請してもらう形で対応したいとの回答があった。他はおおむね快諾をいただいている。</p>		

## (2)平成 27 年度事業計画について

○平成 27 年度の事業計画案を事務局が説明したところ、次のような質問があったが、原案通り年報に掲載することが了承された。

(委 員) 学校との連携の方策として、企画展で使用したパネルを各校に巡回させるということが考えられるのではないか。

(事務局) 文化財学習センターで学校の展示を行ったときは、そのパネルを各小学校に 1 週間ずつ展示したことがある。しかし企画展の内容によっては、小中学生に理解してもらいにくいものもあるので、テーマによって可能なものは実施するというので、今後検討していきたい。

(委 員) 資料に興味を抱くキーマンとなるような先生が各学校にいれば、その先生を足がかりに学校への普及活動が展開できるのではないか。そのような先生に町史研究へ執筆していただくのも一つの方法である。

(事務局) 今のところそのような先生の存在は把握していない。ただ先日、茅ヶ崎寒川地区の中学校教員の研修会のおり、大蔵自治会文書の展示を見に来た先生が、物資の配給などの資料が授業で使えるとして複写していった事例があるので、こうした機会を積極的に活かしていきたい。

## (3)平成 27 年度の刊行物について

○町史研究第 28 号は、「浜降祭と寒川」を特集することで了承された。

(委 員) 茅ヶ崎市との広域連携事業における浜降祭に関する講演会は、圭室先生の「浜降祭日記から見た祭礼の移り変わり」と鈴木通大氏の「浜降り神事について一相模湾沿岸を中心に一」の 2 本立てであった。ぜひ鈴木氏の講演録も掲載するよう検討してほしい。

(事務局) 鈴木氏は茅ヶ崎の卒として呼び出した先生である。共催相手の茅ヶ崎市文化資料館も「研究報告」という逐次刊行物を発行しているので、そこでどのように扱うか確認する必要があるが、ぜひ交渉してみたい。

○調査報告書については、8 月 31 日付けで第 21 集「大蔵自治会文書(1)」を完成させた。担当の内海委員から解説執筆にあたってのポイントなどについて説明があった。

○事務局から提案された刊行物のうち、年報第 8 号、文書だより第 18・19 号、絵はがき集については、特に意見はでずに了承された。

	<p><b>(4)平成 27 年度の普及事業について</b></p> <p>○町史講座、資料保存活用講演会、古文書講座、資料活用講座、企画展、ミニ展示などの普及事業については、すでに実施中のもの、今後実施するものなどについて事務局から報告した。これに対し特に質疑はなく、いずれも原案どおりで了承された。</p> <p><b>(5)その他</b></p> <p>○寒川町第 6 次行政改革プランの途中経過について事務局から説明した。前回会議の 1 月段階では、指定管理の検討対象となったことのみを報告し、公文書を扱うこと、高度な専門知識を要することなどから、民間委託できる余地はないという意見をいただいた。この意見を尊重しながら内部のヒアリング等をすすめた結果、現在も図書館と一体で行っている建物管理等の部分は指定管理者に委ねるものの、図書館の実務に関わる部分は直営で行う方向性が確認されている。公文書館機能を内包している福岡市総合図書館が現在指定管理者を公募しているが、建物管理のみの委託になるということで、引き続きこれについて情報収集をしていきたい。</p> <p>○図書館の専門職員について、来年 4 月採用に向けて公募の告知をしたところである。10 月 5 日～10 日に受け付け、10 月 25 日に一次試験を実施する。</p> <p>○現委員の任期は今年の 12 月 19 日で切れる。引き続き再委嘱したいので、手続き書類のやりとりを行いたい。次回会議は委嘱式も兼ねて、年末に開催したい。</p> <p>○会議録署名委員として木村委員が指名された。</p>
<p>資 料</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成 26 年度事業結果報告について</li> <li>2 平成 27 年度の事業計画について</li> <li>3 平成 27 年度の刊行物について</li> <li>4 町史研究第 28 号構成案</li> <li>5 平成 27 年度普及事業について</li> <li>6 第 6 次行政改革プラン進行管理表</li> </ol>
<p>議事録承認委員及び 議事録確定年月日</p>	<p>木 村 勇</p> <p style="text-align: right;">(平成 27 年 9 月 8 日確定)</p>